

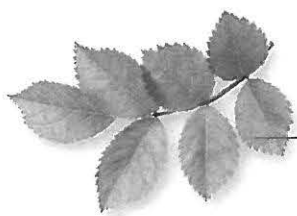


Title	Bangladeshでみた人と人とのつながり
Author(s)	橋場, 文香
Citation	目で見えるWHO. 2012, 48, p. 16-17
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86761
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



バングラデシュでみた人と人とのつながり

長崎大学国際健康開発研究科 修士課程1年 橋 場 文 香

バングラデシュには、途上国における国際保健プロジェクトの成功例の視察を目的とした、大学院の短期フィールド研修で訪れました。



BRACが支援する小学校にて

インドの東側に位置するバングラデシュは人口1億5000万人を超える国であり、人口密度は世界第5位です。首都ダッカに着くと、都会で育った私でも、人と車の多さと雑然とした雰囲気によって圧倒されました。フィラリアで陰嚢が腫れた子供を抱えて物乞いをする10歳位の男の子や裸で路上に放置されて泣きじゃくっている赤ん坊、そして彼らを前に立ちはだかるビル。今回の訪問で、発展し続けるダッカで格差社会を目のあたりにし、世界の不平等・不公平について悶々と考えさせられました。

世界最大のNGO、BRAC^(注1)が行っているプロジェクト(例えば、都市スラムにおける母子保健のMANOSHI、水と衛生教育のWASH、貧困から脱却するためのSTUP)は、コミュニティ全体を巻き込んで実施されています。具体的には、村で権力者を巻き込んだcommitteeを形成し、月に一定の回数集まり、報告・連絡・相談を行っています。影響力をもつ権力者を巻き込むことでより支援の輪が広がるからです。Special Targeted Ultra Poor、STUPのcommitteeの話では、村の女性の家が災害で壊れた際には、募金をつくり彼女の家を建てかえる手伝いをしたと

聞きました。プロジェクトの対象者に対して、サービスを提供するだけではなく、彼らの周りの環境も考えているBRACそしてコミュニティ全体で支え助け合っている姿に感銘を受けました。Social Supportの有無は、メンタル面にも多大な影響を及ぼします。バングラデシュの農村では、隣近所はもちろんのこと、村全体がどこに誰が住んでいるのかを把握しています。子供達は、皆自然と集まって走り回り、大人も誰の子構わず相手している状況でした。貧しくて経済的に辛い状況の上、孤独であれば更なる辛さをうみます。人が支え合っていく事は、本来の人間社会のありようではないでしょうか。人ひとりの力はちっぽけなものかもしれないが、人と人とのつながりがあれば、成しえる力は計り知れません。



BRACの衛生教育を受けていた村の女性

コミュニティレベルに限った話ではなく、人と人とのつながりの重要性は、ドナー側の機関の連携、国全体そして各レベル(県、郡、ユニオン)の連携に関しても言えることです。例えば、援助はドナーがいて初めて成り立つものですが、結果重視のプロジェクトを実施したり、自己中心的援助をするなど、ドナー側の都合を押しつけていいものではありません。今や数多くの機関が援助に入っており、連携は欠かせません。どう連携をとっていくかは、持続して考えなければならない課題である。援助される側の

人々が一体何を必要としているのかという相手側の視点につき、彼らを主体として対策を講じることが一つの解決策となっています。バングラデシュの保健セクターでは、保健家族福祉省の中に保健サービス局と家族計画局が存在し、個別にサービスを提供し、重複している現状があります。効率を良くする為にも統合できる所はしたいものでありますが、既に存在しており統合できない以上、双方の連携は欠かせません。

幾度となく世界の不平等・不公平な状態に悩み続けていた私ですが、どんな形でもやはり人の為に何かをしたいという根本は変わりません。バングラデシュでの三週間は、人やコミュニティーの大切さや連携の大切さを私に改めて教え、モチベーションや向上心を与えてくれました。私ひとりが成し得る事は、この世界ではとてもちっぽけですが、パートナーシップを通して少しでも多くの人の健康そして幸せに貢献していければと、新たな決意を胸に日々精進していこうと思います。

(注1) BRACは、貧困の状況に置かれている人々をエンパワーし、彼らの人生の変化をもたらすことを目的とした開発組織です。1972年に設立され、戦争中にインドへ大量に渡った難民への支援をしていましたが、今では貧困などの様々な難題に立ち向かい、開発の先駆者となって支援をしています。



村のcommitteeの話し合い

広告



世界の水をきれいにする

自然の悠久の中で棲息する
あらゆる生き物のために・・・



世界の水をきれいにする
アクア テック サラヤ

〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-3
TEL 06-6222-7890 FAX 06-6222-7870
<http://www.saraya-aqua.com/>